

03：民間企業からの転職（事務職）

■前職で培った経験やノウハウを活かしたい

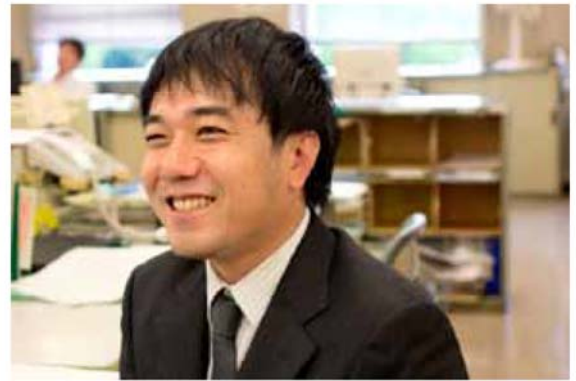
前職では、店舗責任者としてサービス業に従事し、やりがいを持って働いていましたが、家庭の事情で仕事を辞めなければならなくなりました。市職員を選んだのは、当時テレビなどで「経営感覚を持った行政」というフレーズをよく聞き、店舗経営をしていた自分なら、これまで培ってきた経験やノウハウを活かせると思ったからです。仕事を辞めて、試験まで3カ月しかありませんでしたが、必死で勉強しました。

■多角的な視点で業務に取り組むことができる

前職では、当然の事ながら売上の向上が目的ということもあり、次第に売上にとらわれ過ぎて視野が狭くなり、サービス業の基本である「お客様を第一に」という考え方を失った苦い経験があります。一方、市役所では様々な部署があり、それぞれの部署で目的や目標が違うため、コストだけでなく、多角的な視点やバランス感覚を大切にしながら業務に取り組むことができます。

■様々な仕事を経験したい人におすすめ

現在、私は、ゴミ処理の企画運営を実施しています。ゴミ処理については、自治体の責務で、地域の実情に応じた事業の企画、運営が可能であるため、他の部署の業務に比べ、新たな施策を企画する自由度が高いです。企画立案の際に、事業効果を分析するにあたっては、前職で培った経験・ノウハウを活かし、事業効果を数値化し、長期的な視点で計画を考えることができます。倉敷市役所は経歴、職歴に関係なく、様々な仕事を経験できる場所です。充実感を味わいたい方に、おすすめします。



リサイクル推進部一般廃棄物対策課

内海 将臣 【平成17年度採用】

＜職種＞ 事務

＜経歴＞ 平成17年4月 福祉部生活福祉課
平成19年4月 保健福祉推進課
平成22年4月 リサイクル推進部
一般廃棄物対策課

04：民間企業からの転職（技術職）



建築部公共建築課

仲尾 洋一 【平成18年度採用】

＜職種＞ 建築

＜経歴＞ 平成18年4月 建築部建築指導課
平成21年4月 建築部公共建築課

■地域のために公共施設に関わる仕事がしたい

私は、大学卒業から5年間、民間の建設会社で、工事現場監理・確認申請などの業務を行っていましたが、「地域のために公共施設に関わる仕事がしたい」という思いから、倉敷市職員を志望しました。

■設計から積算・現場管理まで、事業のプロセス全てに関われる

民間では設計・積算・現場管理の各部門に分かれて事業を進めることが多いですが、市では、その全てを一人が担当します。そのため、幅広い知識が必要になるなど、大変なことも多いですが、その分、建物が完成した時には、充実感を感じることが出来ます。

実際に、小学校の耐震化工事が終了後、校舎で学ぼう子供たちの笑顔を見たときには、何ともいえない達成感を感じることができました。

■「まちを創る」「まちを守る」誇りある仕事

民間企業は、利益を確保することを前提として、顧客の要望に応じて、好きな材料、デザインでものを創ることができますが、行政は、コストだけでものを考えるのではなく、景観や、耐久性など様々な面で考えなければなりません。確かに、民間企業のような派手さはないかもしれませんが、「まちを創る」「まちを守る」誇りある仕事をしたい方には、ピッタリの仕事だと思います。

また、倉敷市の技術職は、先進的な事例、技術を学ぶため、年に一度視察に行き、勉強することができます。働き続けながら、自分自身を成長させることができるのも、この仕事の魅力です。

ここにも倉敷市役所 倉敷市の玄関であるJR倉敷駅周辺の「中心市街地」。こんな部署が関わっています。



「駅周辺の連続立体交差」……………鉄道高架推進室

「駅周辺の区画整理」……………倉敷駅周辺開発事務所

「駅周辺の再開発」……………市街地開発課

「中心市街地活性化基本計画」……………新市・まちづくり推進課